

漏水調査業務委託

仕様書

輪島市上下水道局

第1章 一般事項

1. 業務名称

令和8年度 輪島上水漏水調査業務

2. 目的

本仕様書は輪島市上下水道局が委託する漏水調査業務について必要な事項を定めるものであり、受注者は本仕様書を遵守しなければならない。

3. 委託範囲

輪島市内（輪島上水区域）

調査管路延長（見込み） L=160.0km

4. 履行期間

着手 令和 年 月 日

完了 令和 9年 3月31日

5. 使用機材

委託業務に使用する機材については、着手前6カ月以内に点検を実施合格したものとし、メーカーが発行する点検証明書を提出すること。

第2章 委託業務内容

1 業務目的

本業務の目的は、輪島上水区域の管路の漏水を発見し、無収水量の低減を目的とする。

2 業務内容

本業務における業務内容は、輪島市上下水道局（以下「発注者」とする。）が指定する輪島市内（輪島上水区域）の水道管路において、次の各号の内容を実施するものとする。

（1）作業計画策定

業務計画に基づき、次の項目について作業を行い、報告書を作成する。

（2）現場下見調査

調査区域の給・配水管図面情報と現地の管路、弁栓類の位置に相違がないか確認を行う。管種、埋設深度、地形及び調査作業の障害の有無も併せて確認する。

（3）漏水調査

調査区域の現状に合わせ、戸別音聴調査・路面音聴調査・相関調査等を実施する。

工法については、現場状況に合わせ発注者と協議する。

（4）被災状況の記録

被災状況・情報の一元化のため、発見した漏水箇所及び無収水量逓減に資する情報を情報共有システムに登録し、一元管理し共有する。

（5）報告書作成

調査業務終了後速やかに調査結果を情報共有システムに登録するとともに、下記成果品を委託者へ提出すること。

- ・調査方法・概要
- ・各種分析・考察
- ・今後の調査についての参考意見

3 業務の遂行

受注者は業務遂行にあたっては、発注者と協議し、指示を遵守するものとし、責任感と細心の注意を払い、万一疑義が生じた場合には直ちに発注者と緊密な連絡をとり、そ

の指示又は承認を受けなければならない。

4 提出書類

受注者は、業務の着手及び完了にあたって、発注者との契約に定めるもののほか、次の書類を提出しなければならない。

- (1) 業務着手届
- (2) 業務主任技術者届
- (3) 業務工程表
- (4) 業務計画書
- (5) 使用機器校正証明書
- (6) 業務完了報告書
- (7) その他

5 資料提示

発注者は、受注者に対し、業務に必要な配水管路図（SHAPE データ）その他の関係資料を提示するものとし、受注者は、資料の取扱いについては丁寧に扱い、作業完了後発注者へ返却するものとする。

6 秘密の保持

受注者は、業務上において知り得た情報を他に漏らしてはならない。

7 身分証明書等の携帯

現地調査において調査員は、身分証明書の携帯と腕章を着用し、住民とのトラブルを起こさないように十分注意をしなければならない。

8 業務遂行中の事故災害

受注者は、本業務に伴う安全対策及び事故を未然に防止するための対策をとらなければならない。

9 現場調査員の業務及び経験資格

総括責任者は、国土交通省の「公共工事に関する調査及び設計等の品質確保に資する技術者資格（国土交通省登録資格）」であること。管路施設管理技士 1 級、浄水施設管理技士 1 級及び技術士（上下水道部門上水道及び工業用水）を有する者であること。

業務従事者は、次の各号に定める職務内容と実務経験を有する者でなければならない。

(1) 調査主任技師

調査業務及び漏水防止対策業務に精通し、業務の総括、計画、立案、指導を行い、実務経験を 7 年以上有する者。

(2) 調査技師

漏水調査及び管路探知等の作業に習熟し、実務経験を3年以上有する者。

(3) 調査技師補

漏水調査及び管路探知等の作業に習熟し、実務経験を1年以上有する者。

(4) 調査助手

漏水調査及び管路探知等の作業について、調査主任技師又は調査技師の指示に従って作業を行う能力を有する者。

総括責任者は、調査主任技師が兼務することができる。

受託者は、履行期間内に業務が完了するよう調査技術者を配置しなければならない。

10 その他

この仕様書に記載のない事項については、発注者と協議すること。